

# せとまちトーク進捗管理シート

深川 連区

テーマ

深川小学校跡地

## 課題・問題点の背景・理由

地元要望を多々声を上げているのに、課題解決へ進んでいない

## 解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

・行政が深川地区をどう  
「街」にしていくのかが示されて  
いない。  
・ハード面を含めて出来ること  
は何かを示すべき  
・山繁商店跡地を含め総合整備  
をしていく  
・宮前地下街建て替えをして街  
づくり活性化

・福祉施設・子育て支援施設  
・連区民が集まってくる施設整  
備して、連区を中心とする。  
・自治会の打合せ場所を早く完  
備して欲しい。  
・若い力が活かされるために跡  
地をどうしていくのか議論を深  
める。

・年間スケジュールを示せ  
・皆が集まる場所がない  
・同じような堂々巡りの議論は  
もうたくさん、進めるにはどう  
したらいいのか

## 関係する常任委員会

総務生活委員会

## せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

21世紀の深川を創る会が様々な協議を積み重ね、その成果として8月下旬に市長へ旧深川小の跡地利用に関する提案書を提出した。これを受け、どのような活用方法が望ましいか全庁的な協議を行っており、当該地は尾張瀬戸駅に近接し、利便性が高いことから、公共施設の集約場所としての活用を検討していき、深川を創る会との協議へと繋げていくとの事である。また、施設整備にあたっては、民間活力(民間事業者の資金や技術力、ノウハウ)の導入を念頭に進めていくとのことである。

瀬戸市議会9月定例会においても、議員一般質問の中で、当該事業に関して一定の期限を設け、地元合意を図りながら、鋭意取り組んでいく旨の答弁を引き出した。今後も総務生活委員会として協議会の傍聴に参加し、得た情報を共有して積極的な議論を担当課と重ね、跡地活用実現に向けて働きかけていく。

旧山繫商店跡地や宮前地下街再整備については、関連施策や利害関係者、権利関係もあり、それぞれ単体で活性化施策をするのではなく、旧深川小跡地利活用や宮前公園のあり方、観光や歴史文化の今後も含め総合的な観点での計画立案が必要と考える。

【補足】